

平成 29 年 3 月 15 日

## 平成 28 年度 第 3 回 大阪市立常盤小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立常盤小学校  
 校長名 横 田 隆 文

日 時	平成 29 年 3 月 10 日 (金) 午後 4 時 00 分～午後 5 時 15 分	
場 所	大阪市立常盤小学校 多目的室	
席 者	委員 など	坂口佳史 (会長) 久森茂樹 (委員) 高岡祥介 (委員) 富田四郎 (委員) 林田英大 (委員) 藤田実由貴 (委員)
		林憲治郎 (委員) 丹山厚子 (委員)
	校 園	横田隆文 (校長) 林真美子 (副校長) 望月幹雄 (教頭) 松本守隆 (教務主任)
	区役所	浅野京子 (教育担当課長代理)
議 題	(1) 運営に関する計画 最終評価について (2) 学校改善に向けた意見交換について (3) その他	
協 議 要 旨	協議の結果	
	(1)	取組内容及び達成状況 について了承された。
		・「学力の向上」に関しては、目標通り達成できた。 「道徳心・社会性の育成」においては、「自分にはよいところがありますか」の回答が目標値にわずかに達せず、また、不登校児童数の前年比減には至らず、年度目標の達成状況を C と報告した。取組内容と取組の進捗状況を測る指標が全て B 以上であることから、評価は B が妥当であると委員から意見があり修正した。 ・アンケート調査結果から自己肯定感が低いことがうかがえる。児童の自信につながる教育活動や指導が望まれる。 ・「健康・体力の保持増進」においては、児童数に対する運動場の狭小がネックとなるが、パワーアップタイムなど運動する時間や使い方を改めて検討する必要がある。 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「上体おこし」は男女とも市、全国平均ともに上回った。8 種目中、男子は 7 種目、女子は 4 種目、前年度の値より改善が見られる。

	(2)	理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校中学校と通じて自己肯定感が低い。先生から「できる」と認められると子どもの自信につながる。特に遊び(コマ回し、スキップなど)や運動(鉄棒や跳び箱など)において、できるようになることが喜びとなり、自信につながりやすい。</li> <li>・常盤の校区は運動できる場所がない。区にも要望しているが地域の理解やセキュリティの面など課題もある。</li> <li>・小さい頃は遊びを通して運動する時間が取れているが、年齢が上がるとともに習い事などで運動量が減っていき、特に女子の運動嫌いにつながっていると推測できる。生涯を通して運動や体を動かす活動を行うことが必要と思われる。</li> </ul>
	(3)	理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校前の道路はスクールゾーンになっているが、自動車の通行が多く危険。子どもたちの安全確保のために地域からも区に要望している。</li> <li>・地域と学校が連携した防災訓練について、中学生防災リーダーの協力や学年を限定しての開催などの検討。</li> </ul>
協議 資料	○ 「運営に関する計画」 最終評価について ○ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート		
備考	傍聴者なし		